

第3学年 外国語活動学習指導案

日 時 令和3年11月18日（木）公開授業②

児 童 3年1組 男19名 女14名 計33名

指導者 藤原 俊江（HRT）

小山 カオ（ALT）

沼倉 みか子（特別支援）

授業構想の視点

A L Tの有効な活用

1 単元名 Unit7 This is for you. (Let's Try ! 1)

2 単元について

（1）児童観

本学級の児童はこれまでに、色や数、果物・野菜、身の回りの物などの語とともに、挨拶や好みを伝える表現に慣れ親しんできている。外国語活動に対しては興味を持って楽しく取り組んでいる児童が多い。

これまでの活動を通して、ALTの発音をよく聞いて真似しようと発音したり、今の気分をジェスチャーをつけて相手に楽しく伝えたりすることが身に付いてきている。

（2）教材観

児童は、これまでに数や色の語彙に慣れ親しんでいる。前單元では、**What do you like?**を学習し、相手が何を好きかどうかをたずねたり答えたりする活動を経験し、相手の好きな物に興味を持って質問をしている。本單元では、「おうちの人にサプライズクリスマスカードをおくろう！」をゴールとし、手作りのカードを渡すことを第1時に児童と共有する。そのカードに使う部品を手に入れるため、いろいろな形の言い方や、**What do you want?**のやり取りを学習する。加えて、カードを贈る言い方の練習をして、おうちの人に英語を使ってカードを贈ることで、自分の成長を実感するのに適した教材である。

（3）指導観

本単元のゴールとして「おうちの人に、サプライズクリスマスカードを贈ろう！」を設定した。まず、担任が自分の気持ちを伝えるためのカードを作り、それを児童に掲示することで、意欲付けを図りたい。児童にも、家族にどんな気持ちを伝えたいかを考えられるようにしていく。これまでの単元でアルファベットの大文字にも親しんできていることから、大文字を使ったメッセージや相手の名前の頭文字を使うことも考えられる。3年生の実態を考えると、日本語で言葉を添えるなどにより、メッセージ性が高まると思われる。

本単元の学習では、第1時で「形」を表す語に出合い、第2時で形の言い方に慣れ親しみ、第3時には、欲しいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。第4時では、形を売る側と買う側に分かれて「お店屋さんごっこ」を行う。活動する際、十分に表現が言えなくても指導者がサポートしながら、英語を使おうとする姿勢やコミュニケーションを図ろうとする態度を認め、しっかり称賛するようにしたい。カードの作成は、図画工作科の時間を使って行うが、台紙の色や形等、児童の意欲が高まるような工夫をしたい。

3 単元の目標

- ・家族に、サプライズでクリスマスカードを贈ろうとする活動を通して、相手が喜ぶような色や形を選んだり、友達が欲しいパーツをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

領域	学習指導要領における領域別目標
話すこと [やり取り]	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようになる。

5 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<知識> 日本語と英語の音声の違いに気づき、形の言い方や、What do you want? / How many? / ~ please.の表現について理解している。 <技能> 形の言い方や、What do you want? / How many? / ~ please.を用いてやり取りをする技能を身に付けている。	家族が喜ぶクリスマスカードを作るために、必要なパーツをたずねたり答えたりするやり取りをしている。	家族が喜ぶクリスマスカードを作るために、必要なパーツをたずねたり答えたりするやり取りをしようとしている。

6 単元指導計画（全5時間）

単元のゴール

おうちの人にサプライズ クリスマスカードを贈ろう！

話すこと[やり取り]で評価

第5時 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介し合う。

- ・自分のクリスマスカードを紹介する言い方を知り、紹介の仕方のイメージをもつ。
- ・良い事例を紹介して、よりねらいに沿った活動になるようにする。

表現：What do you want?/ ～,please./ This is my card./ This is for you./ Thank you. 語彙：色・形

〔手立て3〕活動がよりねらいに沿ったものとなるように、ヒントやモデルになるものを掲示しておく。

【思・判・表】自分のクリスマスカードを紹介するために、ヒントやモデルとなる話し方を参考にして紹介をしている。

【態度】自分のクリスマスカードを紹介するために、ヒントやモデルとなる話し方を参考にして紹介しようとしている。

第4時（本時） ◎おうちの人が喜ぶクリスマスカードを作るために、欲しいものをたずねたり答えたりして伝え合う。

- ・前時までに慣れ親しんだ様々な色や形の英語での言い方を用いてやり取りを行う。
- ・欲しいパーツを受け渡す活動を通して、ALT とのやり取りを積極的に行う。

表現：What do you want? / How many? / A ～ please. / Here you are. / This is for you. / Thank you. / You are welcome. 語彙：いろいろな形・色

〔手立て2〕自信をもって言えるようにするために、ALT やペア等のやり取りを通して会話の続け方や良いモデルの共有をする。

【思・判・表】家族が喜ぶクリスマスカードを作るために、必要なパーツをたずねたり答えたりするやり取りをしている。

【態度】家族が喜ぶクリスマスカードを作るために、必要なパーツをたずねたり答えたりするやり取りをしようとしている。

第3時 ◎おうちの人が喜ぶクリスマスカードを作るために、欲しいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

- ・色や形の言い方を用いてやり取りを行う。
- ・活動を通して、欲しいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

表現：What do you want?/ A ～,please./I want ～./Thank you. 語彙：いろいろな形・色

〔手立て2〕自信をもって言えるようにするために、ALT やペア等のやりとりを通して会話の続け方やよいモデルの共有をする。

【知・技】形や色の言い方を用いて、たずねたり答えたりする技能を身に付けている。

第2時 ◎形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。

- ・活動を通して、形の言い方に慣れ親しむ。
- ・形の言い方を用いてやり取りを行う。

表現：What do you want?/ A ～,please./I want ～./Thank you. 語彙：いろいろな形

〔手立て3〕活動がよりねらいに沿ったものとなるように、ヒントやモデルになるものを掲示しておく。

第1時 ◎日本語と英語の発音の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。

- ・いろいろな形の言い方に慣れ親しむ。
- ・「お家の人にサプライズでクリスマスカードを贈ろう」という単元のゴールを確認する。

（教師自作のカード）

表現：What do you want? 語彙：いろいろな形

〔手立て1〕活動への意欲を高め、ゴールのイメージをもたせるために、教師それぞれが自分の手作りカードを提示しながら、会話のデモンストレーションを行う。

本Unitで身に付けさせたい、高めたい力

自信をもって相手に話す力、相手の言いたいことを聞き取る力

7 授業構想の視点

【ALT の有効な活用】

- ・ Small talk や Activity で HRT とのやり取りを行うことで、場面の設定やゲームのルールを捉えやすくする。
- ・ 状況に応じて発音のテンポを変えたり机間指導の際に声がけを行ったりすることで、児童の単語や表現の言い方の向上を図る。

8 本時の指導

(1) 目標

お家の人が喜ぶクリスマスカードを作るために、欲しいものをたずねたり答えたりして伝え合う。

(2) 指導にあたって

- 〔手立て1〕・活動への意欲を高め、ゴールのイメージを持たせるために、教師それぞれが自分の手作りカードを掲示しながら、会話のデモンストレーションを行う。
- 〔手立て2〕・自信をもって言えるようにするために、ALT やペア等のやり取りを通して会話の続け方や良いモデルの共有をする。
- 〔手立て3〕・具体的な振り返りをシートに書くことができるように、本時に学習した話型等を黒板に提示しておく。

(3) 展開（4／5時間）

段階	児童の活動	教師の働きかけ ◎評価＜方法＞〔手立て〕	準備物
導入 7分	1 Greeting ・全体で挨拶をする。 Hello, ～. How are you?	・全体で挨拶をし、今の気分を確認する。 ・隣同士のペアでジェスチャーをつけて言うことで、楽しく会話に参加できるようにする。	
	2 Small talk ・HRT と ALT のやり取りを聞き、本時のゴールを捉える。	・HRT と ALT がどんなことを話しているのかを推測しながら聴くように促す。 ・「I want ～, ～, ～, and ～.」自分の作った形を話す。(T: 3人) ・活動への意欲を高め、ゴールのイメージを持たせるために、教師それぞれが自分の手作りカードを提示しながら、会話のデモンストレーションを行う。〔手立て1〕	
	Unit goal おうちの人にサプライズクリスマスカードを贈ろう！		
	Today' s goal おうちの人がよく「クリスマスカード」を作るために、ほしい色や形を集めよう！		
		・本時の学習の姿勢の重点を確認する。 (D (A) I (T) O)	

展開 30分	3 Activity ○「お店屋さんごっこ！」 ・欲しいものをたずねたり答えたりして形を集め、クリスマスカードを作る。 やり取りの例 A:What do you want? B:~, please. A:How many? B:~, please. A:What color? B:~, please. A:OK! Here you are. B:Thank you. A:You are welcome. ・良いやり取りをしているペアのやり取りを見て、どんなところが良いかを考える。 ・カードを必要数集めたら、それらを袋に入れる。	・ALTとデモンストレーションをすることで、進め方を理解できるようにする。 ・前時での活動の経験を生かして、もらう側と渡す側に分かれ、前半と後半で役割を交替して行うことを伝える。 ・積極的にやり取りが行えるように支援する。 ・一往復したところで中間指導を行い、後半の活動がねらいに沿ったものとなるようにする。前半の活動で良いやり取りをしているペアを取り出して、そのやり取りを再現するよう促す。どういうやり取りがよいかを全体で考え、後半はそれを生かしたやり取りとなるように促す。 ・よいモデルのペアの何が良かったのかを具体的に伝え合うことで、自信をもたせるようにする。〔手立て2〕 ◎家族が喜ぶクリスマスカードを作るために、必要なパーツをたずねたり答えたりするやり取りをしている。 <行動観察・振り返りシート>	・カード (色, 形)
終末 8分	4 Reflection ・本時の活動の振り返りをシートに記入する。 1回目は言い方に自信がなかったけど、2回目では自分の買いたいパーツをはっきり話して買うことができた。クリスマスツリーの形が作れてよかった。 5 Closing	・自分の活動を振り返って、具体的な振り返りをシートに書くことができるように、本時に学習した話型等を黒板に提示しておく。〔手立て3〕 ・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童の良かったところを称賛する。 ・次時の学習の内容を確認する。	・Let' s Try! シート ・カード (話型等)